

矢本コーラス愛好会

変わらぬ美声響かせて47年 新規メンバーを大募集中



和気あいあいとした雰囲気の中で練習が行われます

「矢本コーラス愛好会」(遠藤文明会長)は、昭和43年の成人式に集まった20歳の青年たちで発足した混成合唱グループで、今年で発足47年の市内でも長い歴史を持つ合唱団の一つです。



「全国青年大会」の合唱の部で昭和61年、62年の2年連続で最優秀賞を受賞し、また63年のオーストラリア建国200年記念「ジャパンウィーク」では、シドニー公演を果たしました。同年、旧矢本町から特別功労も受賞しました。現在も、市民文化祭や県北合唱祭など地域内外のイベントで、変わらない美声を披露し続けています。

現在会員は13人。年齢層は30代から70代と幅広く、和気あいあいとしたアットホームな雰囲気が魅力です。練習は毎週金曜日午後7時半から市コミュニティセンターの集会室で行い、楽しみながら練習に励んでいます。

遠藤会長は「音楽が好きで、合唱に興味のある人なら、老若男女、地域を問わず大歓迎です。特に男性会員が少ないので、一人でも多く参加していただければうれしいです。まずは気軽に見学にいらしてください」と話していました。

■問 遠藤会長 ☎83-3797

犯罪・非行防止で 明るい社会を



犯罪や非行を防止し、罪を犯した人の社会復帰を支える「社会を明るくする運動」の強調月間に合わせ、同運動東松島市推進委員会(高橋孝男委員長)が、陸前赤井・東矢本・矢本・陸前小野・東名・野蒜の市内6か所の駅前で開催活動を行いました。通勤、通学者に携帯ティッシュやシンボルマークのヒマワリなどを手渡し、明るい地域づくりを呼びかけました。陸前赤井駅では、安倍晋三内閣総理大臣からのメッセージが阿部秀保市長に伝達されました(7月1日、陸前赤井駅前)

量より質的満足 プラチナ社会は



市制施行10周年を記念した「地方創生フォーラム」では、東京大学第28代総長でプラチナ構想ネットワーク会長の小宮山宏さんが講演しました。来場者は熱心に耳を傾け、量より質的満足で快適性を高めるプラチナ社会の構築に向けたヒントを探りました(7月1日、市コミュニティセンター)

民意を反映した 教育目指す



27年度の第1回東松島市総合教育会議では、市長や市教育委員が集い、相互の連携を図りながら、民意を反映した教育行政を実施していくことを申し合わせました。会議では主に、教育や文化の振興に関する総合的な大綱の策定に向けた協議を行い、活発に意見を出し合いました(6月25日、市役所)

100万人利用者 ゆぶと達成



今年開業10周年を迎えた市健康増進センター「ゆぶと」の有料施設利用者が100万人を達成し、記念セレモニーが行われました。100万人目となった石巻市大街道南の三浦敏恵さんはご夫婦でよく入浴施設を利用して、「とても驚いています。お風呂がきれいで広く、これからも通いたいです」と喜んでいました(6月29日、ゆぶと)